

都市と森を繋げる

プロジェクト「NINOMIYA」

薪を通じて都市の青年と森林を繋げる

札幌近郊の森で眠る資源である『未利用材』を利用し、青年の力で薪作りを実施しています。その薪の売上の一部は青年層が自分の将来の為に学ぶための資金に充てられます。



【実施報告】

- 参加者
ボランティア：のべ96人
モニター：のべ17人
- 年間総活動回数：37日
材運び日数：8日
薪割り日数：24日
配達日数：3日
- モニターとは・・・チェーンソーなど技術の必要な作業などをお手伝い頂く有償ボランティアのところです。



●実施成果

- 制作薪量：約50立米
- 制作薪本数：約2万本
- 販売・配布先店舗(50音順)
 - ・インソムニア
 - ・キンダーリーブ
 - ・斉藤ファーム
 - ・そば切 雨耕庵
 - ・花園学院
 - ・プランテーション
 - ・森彦
 - ・レストランテ バンビーノ



●参加ボランティアの声

- ・薪をひたすら、無心で割るのが面白い！(大学生男性)
- ・薪が割れた時の爽快感、病みつき。(20代社会人女性)
- ・大変だが、自然の中での活動は楽しい！(大学生男性)
- ・薪割りなどを出来る環境がとても貴重でした！(大学生女性)
- ・NINOの皆さんから聞く豆知識が素敵で楽しい。来年もうまく出来て欲しい！(30代社会人女性)



大熊 啓介(26)

プロジェクトリーダーより一年間を振り返って。

出来たばかりの活動のため、2013年度は活動を作る年となりました。いろいろと決まっていなかったこともあり、参加してくれたボランティア、モニターにはいろいろと不便をかけたかと思いますが、全員が想いをもって、一緒に作ることができ、活動がうまく形づくられた1年に出来たのではないかと思います。この活動がより成果の大きいものになるためにも、2014年度はより多くのボランティア、モニターと共に活動を作っていきたいと思っています。